

## 電子メール掲示板「HARUYA」について

第2回総会の折、共同チームの木村洋昭氏から共同チームとの情報交換の為、電子メールが利用できる旨の説明がありました。

以下にその利用マニュアルを掲載致します。



資料

# HARUYA

(SPRING-8 BBMS)

## 利用マニュアル

ver .1.0

SPRING-8 ビームライングループ

木村 洋昭

東北大学 医学部 第一薬理

八木 直人

## 第0部 HARUYAへの接続の仕方

SPRING-8のBBMSシステムをHARUYAと呼んでいます。このシステムは、埼玉県和光市の理化学研究所の大型放射光計画推進本部の部屋(94年2月現在)にある、srsunixというUNIXマシン(SUN-IPX)の上で稼動しています。

このシステムは、IP接続されたパソコン、ワークステーション、大型計算機などからアクセスできます。

srsunixのIPアドレスは"134.160.36.41"です。

接続する場合は  
telnet 134.160.36.41 又は telnet srsunix.riken.go.jp  
と入力してください。

理研の内部からですと  
telnet srsunix  
で接続されます。

CS(コミュニケーションサーバ)につながったパソコン(例えば、KEK-PF1階利用者控え室にある98)から直接接続する場合は、  
open 134.160.36.41 又は open srsunix.riken.go.jp  
と入力してください。

UNIXマシンや、大型計算機に接続できるように、ローカルトークにつながっているMacからですと、"open connection"のところへ直接に  
134.160.36.41 又は srsunix.riken.go.jp  
とやっても繋がります。

## 第一部 b b m s の利用開始

b b m s に接続した後、最初に現れるメッセージは、

\*\*\* Welcome to SPring-8 BBMS \*\*\*

Please input your ID name.

(hit Return-key if you do not have an ID.)

?

というものです。

尚、この最初の接続時の表示は、いろいろと変更されるかもしれません。

### ☆はじめて b b m s を利用するとき☆

あなたがはじめて b b m s (Bulletin Board and Mail System) を利用するときには、ここで自分の ID を作ることにになります。ID は、アルファベットまたは数字またはピリオドからなる、16 文字以下の文字列です。

【空白を含んではいけません。なお、使えない文字を含む ID を入力すると、Your ID contains an illegal character. と言われます。また、入力は 30 分以内に行なってください。30 分以上端末から入力がないと、b b m s 側から回線を切ります。】

ID の入力では大文字と小文字は、識別されず、大文字は小文字に変換されます。入力の最後には、かならずリターンキーを押してください。リターンキーを押すまでは、ID は読み込まれませんので、打ち間違えたらバックスペースキーで修正できます。(これは、b b m s のほとんどの入力動作でも、同じです) なお、一文字消去は BS (またはコントロール H、DEL も使用可能) ですが、画面上はカーソルが戻るだけでその下の文字は消去されないことがあります。

自分の ID を考えて入力すると、次のメッセージが現れます。

【もしここで、Please input your password : という問い合わせがなされたら、その ID は既に誰かほかの人によって使われています。リターンキーを 2、3 回押すと、最初のメッセージが再び表示されるので、もう一度、別の ID を入力してください。また、場合によっては、ID の問い合わせなしに、b b m s のメニューが表示されるかも知れません。そのときは、リターンキーを押して、一度 b b m s との接続を切り、b b m s との接続からやり直してください。】

Is this a new userid ?

これに、y (または Y) と答えてください。すると、

Please confirm your ID

because you CANNOT change your ID later.

Examples of ID :

i.kamiyama

m.k.suzuki ... two initials for common names

Please use a part of your name.

Please input your ID again (you can change your ID now !)

というようなメッセージが表示されます。つまり、もう一度、今入力した ID を検討してほしい、という意味です。

ID は、一利用者につき一つだけで、基本的には、“名前のイニシャル・ピリオド・名字” という形ですが、それだけで他の人と判別できないようであれば、イニシャルを二つ付けるか、自分の所属などを後ろに付けるようにすすめられています。また、“名前・ピリオド・名字のイニシャル” のような ID を使っても構いませんが、他人から見ても、誰であるかが判別できるような ID にすることが望ましく、匿名で利用するようなことは避けてください。

一度作った ID は、そのあと変更することは出来ません。ですから、ID はじっくりと考えて作ってください。たとえば、将来所属を変えたりする可能性のある人には、所属を ID に含めることはお勧めできません。万が一、ID を作り損なって、どうしても変更が必要なときには、あとで説明するユーティリティという機能で ID を削除することは可能です。

さて、もう一度、良く考えて、ID を入力してください。ここで入力する ID は、最初に入力したものと違っていても構いません。そうすると、入力した ID を表示して、

Will you use this ID (Yes/No) ?

と聞いてきますから、自分が入力した ID が正しく表示されていれば、y を入力してください。

【もしここで、Sorry but this ID is already used. Please input a different ID : と言われたら、その ID は既に使われています。別の ID を入力してください。】

このあと、

Please answer following questions.

You MUST answer these questions correctly to use bbms.

These will be used in keiji and mail headers.

.... all except UserID can be changed later by Utility.

というメッセージの後、多くの質問をされます。それぞれに答えてください。なお、ここで入力し



## 第二部 メイン・メニュー

IDとパスワードの入力が終わると、b b m sはメイン・メニューを表示します。メイン・メニューは、以下のようなものです。

【以下では、b b m sからのメッセージを日本語で表示するようにしたとして説明します。メッセージを英語にするように指定すると、当然以下のメッセージは英語になります。】

機能を選択してください。

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 0. 利用終了                 | (0.End)       |
| 1. 電子掲示板                | (1.BBS)       |
| 2. 電子メールシステム            | (2.MAIL)      |
| 3. ユーティリティ (パスワードの変更など) | (3.Utility)   |
| 4. 住所録                  | (4.Directory) |

どれにしますか？

利用したい機能を、数字で選択します。

【リターンキーだけを押すと、0を選択したのと同じことになります。また、s10のように、sのあとに数字を付けて入力すると、掲示板の中で、メッセージを一面ずつ区切って表示するときの、画面の行数を指定できます。s0だと、一面ずつ区切らなくなります。なお、このときのs(またはS)は、1バイト文字でなければなりません。】

0の「利用終了」は、文字どおりb b m sの利用を終了します。プログラムは終了し、回線は切断されます。

1の「電子掲示板」を選択すると、電子掲示板が利用できます。電子掲示板の利用法については、第三部「掲示板の使い方」を見てください。

【1でなく、1バイト文字で1sまたは1Sとすると、掲示板のカテゴリー一覧が短い形式で表示されます。】

2の「電子メールシステム」を選択すると、電子メールが利用できます。詳しい利用法は、第四部「電子メールの使い方」を見てください。

3の「ユーティリティ」を選択すると、b b m sをはじめて利用したときに設定した、いくつかの情報を変更することが出来ます。表示されるメニューは、

あなたについてのデータを変更します。機能を選択してください。

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 0. 終了             | (0.End)  |
| 1. 名前に関する記述を変更する。 | (1.Name) |

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 2. 住所に関する記述を変更する。       | (2.Address)         |
| 3. 電話番号に関する記述を変更する。     | (3.Tel.No.)         |
| 4. FAX番号に関する記述を変更する。    | (4.FAX.No.)         |
| 5. 電子メールのアドレスを変更する。     | (5.FAX.No.)         |
| 6. パスワードを変更する。          | (6.Password)        |
| 7. 英語と日本語のどちらにするかを変更する。 | (7.Language)        |
| 8. 漢字コードを変更する。          | (8.Kanji code)      |
| 99. あなたのIDを消す           | (99.Delete this ID) |
- どれにしますか？

となります。

【メイン・メニューとこのメニューでは、日本語のメニューの後に英語でもメニューが表示されます。これは、使用している端末の漢字コードが、現在設定してある漢字コードと異なっていたときに、漢字が読めなくても、ユーティリティを選択し、漢字コードの変更が行えなければならないからです。】

希望する機能を数字で選択すると、その項目の現在のデータが表示され、新しいデータを入力するようにいわれますので、指示に従って新しいデータを入力してください。入力の要領は、IDを作成した時と、ほぼ同じです。新しいデータを入力せず、リターンキーだけを押すと、データは変更されません。なお、99の機能だけは、十分注意して使用してください。

【実は、このほかに9番には出された掲示を電子メールで宅配サービスする機能を使うかどうか、10番にはb b m s内の電子メールを使うかどうかの設定がありますが、メニューには表示されません。これらの設定は、t e l n e tで直接b b m sにアクセスできず、メールでしか利用できない人のためのものなので、普通の利用者はこれらの設定を変えないほうがよいでしょう】

4の「住所録」は、b b m sの利用者についての情報を得るためのものです。b b m sではIDになるべく利用者名を使うように勧めています。短いIDを使うと、どうしてもIDから利用者を推測するのが困難になります。この住所録機能は、IDと利用者を照合するためのもので、IDを入力すると、その人の名前、住所、電話番号・FAX番号・電子メールアドレスが表示されます。また、名前を入力すると、その人がb b m sにIDを持っていれば、その人のIDなどが表示されます。また、大学名などを使って、利用者の一覧を見ることも可能です。

【b b m sに名前を登録するときには、漢字でもローマ字でも構いません。従って、名前からIDを調べるときには、名前をいくつか違った表記の仕方を入力してみる必要があるかも知れません。これは、学部名などで検索するときも同じです。なお、1バイトの英字に関しては、大文字小文字の区別をしません。名前や所属については、入力時の誤りによって制御コードを含んだ文字列で登録している人が多くいます。そのため、画面上の表示が乱れることがありますが、このようなときには端末をリセットしてください。】

## 第三部 掲示板の使い方

掲示板を選択すると、まずカテゴリの選択画面が表示されます。この掲示板の掲示は、カテゴリ分けされており、利用者は自分の興味有るカテゴリを選択して、そのカテゴリに属するものだけを読むことが出来ます。これは、掲示の数が多いときに、利用者が掲示を選択するのを楽にするための工夫です。この掲示板では、カテゴリは掲示を出す人が自由に作ることが出来ます。従って、カテゴリの種類や数は、そのときに掲示板にある掲示の内容によって変わります。【カテゴリは、そのカテゴリに掲示がなくなると消滅し、一覧表にも表示されなくなります。】

以下のカテゴリから、お好みのものを一つ選択してください。

0にするとすべてのカテゴリの掲示が読めます。

番号	カテゴリ名	掲示数(未読)	番号	カテゴリ名	掲示数(未読)
----	-------	---------	----	-------	---------

この下に、その時点で存在するカテゴリと、そのカテゴリに属する掲示の数、そのうちあなたが読んでいない掲示の数が表示されます。

カテゴリ番号を入力してください：

ここで、読みたいカテゴリの番号を入力します。0を入力するか、またはリターンキーだけを押すと、カテゴリを無視してすべての掲示を読むことになります。

【普通はこの後掲示板のメニューが表示されますが、掲示の番号の後に、次のような文字を追加すると、メニュー表示を省略して、掲示板を読むことが出来ます（カテゴリを無視するなら、文字だけを入力します）。\*をつけると、掲示の一覧表が表示され、掲示の番号を入力ようになります。nをつけると、まだ読んでいない、一番古い掲示が表示されます。n\* または \*nをつけると、読んでいない掲示の一覧が表示されます。lをつけると、読んでいない掲示のうちで、一番新しいものが表示されます。これらの文字を付け加えるときには、入力はASCII文字（1バイト文字）に限ります。】

次に掲示板の機能メニューが現れます。

機能を選択してください。

0. 掲示板の利用を終了する
1. 掲示を読む
2. 掲示を出す
3. 掲示を取り消す
4. カテゴリを変更する
5. 掲示板の利用者の一覧を見る

6. 全利用を終了する。  
番号を入力して下さい：

ここで、それぞれの機能の番号を入力します。

【リターンキーだけだと、0と同じこととなります。数字の入力は、2バイト文字でも可能です。また、アルファベットで数字の代わりをさせることもできます。eは0、wは2、dは3、cは4、pは5、qは6です。sとすると、カテゴリ名一覧を、短い形式で表示します。この形式では、各カテゴリ名最初の5文字と、読んでいない掲示の数だけを表示します。また、lnとかnを入力すると、掲示を読むモードになり、読んでいない、一番古い掲示を表示します。lを入力すると、やはり掲示を読むモードになりますが、読んでいない、一番新しい掲示を表示します。rを入力すると、掲示の一覧を表示せずに、番号入力待ちになります。これらの文字は、ASCII文字に限ります。】

「0. 掲示板の利用を終了する」を選択すると、掲示板から抜けて、メインメニューに戻ります。

「1. 掲示を読む」を選択すると、現在そのカテゴリにある掲示の数と、あなたがまだ読んでいない掲示の数が示され、次にそのカテゴリに属する掲示の一覧が示されます。この一覧には、掲示の番号、行数、題名、その掲示を既に読んだかどうか書かれています。読んでいない掲示がないときには、

番号、\* = 掲示一覧、リターン = 最初の掲示、Q = 終了：

というメッセージが表示されるので、読みたい掲示の番号を入力してください。また、リターンキーだけを押すと、最初の掲示（一番古い掲示）が表示されます。\*を入力すると、掲示の一覧を再び見ることが出来ます。【\*nと入力すると、読んでいない掲示の一覧が表示されます。】また、Q（またはq）を入力すると、掲示を読むのを止めて、掲示板のメニューに戻ります。

【ここでの数字や文字の入力は、ASCII文字でも2バイト文字でも構いません。cまたはCと入力すると、掲示板メニューに戻って4（カテゴリ変更）を選択したのと同じこととなります。sまたはSでも、掲示板メニューに戻ってsを入力したのと同じこととなります。また、" r番号1-番号2"という形式で入力すると、番号1から番号2の間にある掲示は、すべて読んでしまったこととなります。また、" u番号1-番号2"という形式で入力すると、番号1から番号2までの掲示は、既に読んだものでも、まだ読んだことがないこととなります。これらの機能は、ほかのメッセージが表示されたときにも使えます。】

まだ読んでいない掲示が存在すると、

番号、\* = 掲示一覧、リターン = 最初の読んでいない掲示、Q = 終了：

というメッセージが表示されます。このときには、リターンキーだけを返すと、最初の読んでいない掲示（つまり、読んでいない掲示のうちで一番古いもの）が表示されます。

一つ掲示を読み終ると、次からは、

番号を入力してください（\* = 掲示一覧、リターン = 次の掲示、Q = 終了）

というメッセージが出るようになります。このときにはリターンキーを押すと、次の番号の掲示が表示されます。

【この掲示は、読んだことのないものであるという保証はありません。次の、読んでいない掲示を読むときには、**n** を入力します。また、+ と入力すると次の掲示、- では一つ前の掲示を表示します。+2 とか -5 とかすると、それぞれ二つ先、5つ前の掲示を表示します。P200（または p200）とすると、200番の掲示を、ヘッダー部分も含めて、全部一気に表示します。さらに、p200-205 とすると、200番から205番までの掲示をまとめて一気に表示します。各掲示の最後には、空行が付け加えられます。P200- のようにすると、最後の掲示まで表示されます。表示を途中で打ち切りたい時には、表示中でも構わず **q** と入力します。しかし、内部的な動作の遅れのため、すぐには停止しません。】

なお、一番新しい掲示を読み終った後は、

31 番号を入力してください（\* = 掲示一覧、リターン = 終了）：

というメッセージが出ます。このときには、リターンキーだけを押すと、掲示を読むのを止めて、掲示板のメニューに戻ります。

それぞれの掲示は、20行ごとに区切って表示されます。

【この区切りの行数（画面の行数）は、bbmsのメイン・メニューで設定できます。】

20行表示した後で、

【スペースを押してください】

という表示が現れます。ここでスペースバーを押すと、次の20行が表示されます。このとき、スペースバーのあとにリターンキーを押す必要はありません。画面上では、「スペースを押してください」というメッセージは、掲示の次の行で消されるはずですが、

【ここでは、いろいろな入力が可能です（いずれも、リターンキーを後ろに付ける必要はありません）。リターンキーを押すと、スペースバーを押したのと同じことになります。f（または F）を押すと、次の一行だけを表示して、また止まります。t（または T）を押すと、掲示の先頭から表示しなおします。e（または E）を押すと、掲示の最後の部分を表示して、その掲示の表示を終了します。b（または B）を押すと、その前の1画面分を表示します。n（または N）を押すと、次の半画面分を表示します。これらはすべて、ASCII文字でも2バイト文字でも構いません。また、"文字列" のように入力すると、その文字列を掲示の中で探し、見つかったそれが画面のほぼ中央に来るように

表示します。】

なお、掲示の途中でその掲示を読むのを止めたいときには、「スペースを押してください」に、**q**（または **Q**）を押してください。また、プリンターに出力するなどの理由で途中で止まることなく一気に表示したいときは、「スペースを押してください」に、**print** と入力してください。

【掲示の先頭から、再び全文を、一気に出力します。これも、大文字でも小文字でも、ASCIIでも2バイト文字でも構いませんが、かならず **print** と5文字全部を打ってリターンキーを押してください。】

## 「2. 掲示を出す」を選択すると、

掲示を出せます。最後にコントロールDを押すまでは、リターンキーだけの行であろうが、何でも入力できます。各行の終わりでは、かならずリターンキーを押してください。また、一行の長さは、できるだけ80バイト（漢字で40文字）以下にしてください。【実際には200バイトまで入りますが、画面上で折り返して表示されるために見にくくなります】掲示の長さは、最大2000行です。

掲示をあらかじめパソコンなどのファイルに作ってある場合には、いろいろな方法でそれを掲示板に送れます。

(1) パソコンやワープロの端末プログラムを使っていて、それに「アップロード機能」があれば、それを使えます。「アップロード機能」と言うのは、キーボードから入力した文字の代わりにファイルの内容を送信する機能で、多くの端末プログラムはこの機能を持っています。これを使うときには、もし「プロンプト待ち」のオプションがあれば使用します（「プロンプト文字」は？です）。さらに、1行の長さを80バイト以下に制限するオプションがあれば、それを使います。（エディターやワープロで作成した文書は、意識して各行の最後に改行を居れないと、一行が非常に長くなっていて、そのままではアップロードできません。このオプションを使うと、長い行は自動的に80バイト以下に切られて送信されます。端末ソフトにこの機能がないときには、文書の各行を80バイト以下にしておいて下さい）「KTERM」というPC98用の端末プログラムを使うなら、かならずファイル名の後ろに、/pk#76 のようなオプションを付けます。

(2) MacやX-window等を使っていて、ウィンドウ間でカットアンドペーストが出来る場合には、エディターなどの画面からtelnetの画面にテキストをカットアンドペーストすることによって、ファイルの内容を送信できます。この方法でアップロードするときには、プロンプトを確認せずに数行ずつまとめて送ってかまいませんが、余り多くの行を一度に送るとハングアップする可能性がありますので、ご注意下さい。

【完全に日本語に対応していないワークステーションなどでtelnetを使ってbbmsに漢字を送ろうとすると、特定の文字（例えば「理」などでtelnet> という文字列が出て送信できなくなることがあります。このような場合は、

telnetを起動するときにホスト名やIPアドレスを指定せずにtelnetだけで起動し、telnet>というプロンプトが出たところでset escape offと入力し、それからopen srsunixのようにホストを指定して接続します】

なお、長い掲示のアップロードは時間が掛かるので、もし一行が80バイト以下になっていれば、後で説明するメールでのアップロードを利用したほうが簡単かもしれません。

長いプログラムやデータを掲示する場合は、あらかじめ圧縮や、コントロールコードをはずす前処理を行ってから掲示してください。いろいろな方法がありますが、とりあえずLHAとishというプログラムを使いたいとおもいます。プログラムをLHAで圧縮した後に"ish filename.lzh /s7 /m"とやってきたファイルをアップロードしてください。尚、2000行を越えるファイルは分割して掲示してください。

掲示の本文の入力が終了すると、その掲示をいつまで掲示板に載せておくかを聞かれます。【掲示の期限(Until)、題名(Subject)は、テキストの先頭に、b b m sが付けるヘッダーと同じ形式(例えば、"Subject: title..."のように、コロンと空白を必ず付ける)で書いておくと、b b m sはそれを認識して取り込んでくれます。従って、そのときには、ここにあるような問い合わせはされません。】

いつまで掲示しますか(年/月/日) ?

52  
1  
1  
掲示の最大期限は6カ月ですから、現在の日付に6カ月を加えた日付よりも前の日付を指定します。

【日付の形式は、1990/1/1のようにするか、89/12/4のようにするか、89-4-19にするか、どれでも構いません。この日付も、2バイト文字で入力可能です。このほか掲示期間の形での指定も可能です。1dは1日、100dは100日、2wは2週間、1mは1カ月を意味します。dは一日、0dまたは0はその日限りを意味します。これらは2バイト文字でも構いません。「1日」「1週」「1月」という日本語での指定も可能です。また、アップロードに失敗した場合など、ここで掲示を出すのを止めたいときには、この質問に、2回リターンキーを返してください。】

日付の次には、この掲示の題名を聞かれます。題名は、長さに制限があり、その長さのゲージが表示されますから、それ以下で入力してください。

次は、カテゴリーです。掲示板に入るときにカテゴリーを指定していると、そのカテゴリーでよいかどうかを確認してきますので、よければyと答えてください。掲示板に入るときに、カテゴリーを無視するようにしているか、またはカテゴリーの確認にnと答えると、現在あるカテゴリーの一覧表が表示されます。掲示を出すカテゴリーは、これらの中から選んで番号で答えます。新しくカテゴリーを作るなら、0と答えると、新しいカテゴリー名を聞いてきます。カテゴリー名は、16文字以下のASCII文字で、スペースを含んではいけません。一般のユーザーには大文字を含むカテゴリー名は作れません。

このあとで、

エディターで編集しますか ?

と聞かれますので、エディターを使いたいときには、yと答えます。

b b m sのエディターは、ラインエディターで、極めて機能の限られたものです。エディターに入ると、

コマンド一覧

L(ist)[n1-n2], I(nsert)n1, D(elete)n1-n2, R(enum), Q(uit)  
ヘッダー部分は注意して編集してください。  
エディターから抜けるにはQを入力してください。

という表示が有ります。コマンドはこれで全部です。

L ( i s t ) [ n 1 - n 2 ] : これは、文書の内容を表示するコマンドです。n1行目からn2行目までを表示します。

I ( n s e r t ) n 1 : これは、n1行目の後ろに行を挿入するコマンドです。行番号が表示されるので、それに続けてテキストを入力します。

D ( e l e t e ) n 1 - n 2 : n1行目からn2行目までを削除します。

R ( e n u m ) : I ( n s e r t ) をしたときに、10行以上挿入しようとする、行番号がたりなくなって挿入できなくなります。そのときには、このコマンドで行番号を付けなおします。

Q ( u i t ) : エディターを抜けます。

そのほか、行番号に続けてテキストを入力すると、もしその番号の行が以前からあればそれで置き換えられますし、なければその位置に挿入されます。【行番号の後ろにスペースがあると、そのスペースは無視されます。】なお、ヘッダー部分を変更すると、その掲示が出せなくなったりしますから、ヘッダー部分は編集しないようにしてください。

【編集しても、後で元のようになおされます。エディターで変更できるのは、題名(Subject:)、住所(Organization:)だけです。いずれも、行の先頭部分(コロンの中の空白まで)は変更してはいけません。変更しても、後でこれらの綴りで上書きされ、文字化けの原因になります。】

エディターに入らないか、またはエディターを終了すると、ヘッダーを含めてテキスト全部が表示され、

これを出していいですか ?

と聞かれます。よければ y と答えます。そのままでは掲示に出したくないときは、n と答えると、

エディターに戻りますか？

と念を押されます。ここで n と答えると、そのテキストは消滅します。y と答えると、再び

エディターで編集しますか？

に、戻ります。

【3. 掲示を取り消す】は、あなたが掲示板にだしている掲示を、掲示を出す時に指定した期限より前に消したいときに使います。まず、あなたがそのカテゴリに出している掲示の一覧が表示されます。その中から、消したい掲示を選んで、番号で指定します。この機能では、番号をいちいち確認しませんので、注意して番号を入力して下さい。

【4. カテゴリを変更する】を選択すると、再びカテゴリ選択画面が表示され、カテゴリを選択できます。カテゴリ選択時のオプションなどは、掲示板システムに入って最初の時と同じですし、掲示の読み方も同じです。

【カテゴリ選択の場で、「カテゴリ番号を入力してください:」に対して、「x00」という形でカテゴリ番号00を入力すると、その次に掲示板に入ったときからそのカテゴリは無視されるようになります。「1」と入力すると、現在無視しているカテゴリの一覧が表示されます。その一覧表の番号を用いて「r00」と指定すれば、次に掲示板を利用するときから、そのカテゴリの存在を表示します。なお、いったん無視していたカテゴリを再び読むように設定すると、そのカテゴリの掲示はすべて未読となります。また、「1」の後で表示される「カテゴリ番号を入力してください:」は、無視されているカテゴリの番号を入力するように指示しているわけではありませんので注意してください。】

【5. 掲示板の利用者の一覧を見る】を選択すると、その時点までに最後に掲示板を読んだ人のリストが一画面分表示され、さらに続けて「スペースを押して下さい」と表示されるので、続けてみるときはスペースを押し、それ以上見ないなら q を入力します。【そのほか、掲示を読んでいるときと同じような機能があります。】このリストには、ID、いつ掲示板を読んだか、というような情報の他に、短いコメントを書く欄があります。リストの表示の後で、

コメントを変更しますか？

という問い合わせがあり、y と答えると、コメントを入力できます。自分のフルネームなどを書いておくと、他の人は助かります。

【ここで、s と入力すると、短い形式のカテゴリ一覧が表示されて、カテゴリの変更が行えます。

また、ここで、! とだけ打ってリターンキーを押すと、チャットモードに入ります。チャットモードに入ると、もしその前15分以内にチャットが行われていた場合には、その内容（発言者と発言）が全部表示されます。その後、キーボードから入力したものはすべてチャットの内容となり、チャットモードに入っている他の総ての利用者の端末に、発言者のIDと発言内容が表示されます。ただし発言を入力中の利用者は、それを入力し終わるまでは他の人の発言を読むことはできません。チャットでの1回の発言は1行（リターンキーを返すまで）で、130文字程度まで入力可能です。チャットに入ると、その利用者の利用者一覧でのコメント欄が「\*\*\* chatting now \*\*\*」に変わるので、現在チャット中の人がいるかどうか、確認できます。また、チャット中にチャットしている人の一覧を見るには、# と入力して下さい。なお、チャット中に席を離れてタイムアウトすると、「\*\*\* chatting now \*\*\*」のままになってしまうことがあります。これは、掲示板を再度利用する時に、「\*\*\* not chatting now \*\*\*」に直されます。チャットから抜けるには、! とだけ入力して下さい。チャット中に、それまでの会話内容を見るには、行の先頭で % と入力して下さい。以上の、! # % は、すべて1バイト文字のみ有効です。チャットは、相手がいなければできません。また、2人以上でチャットすると話が交差するなど、チャットを楽しむにはややテクニックを要します。】

【6. 全利用を終了する】を選択すると、掲示板の利用を終了し、さらに b b m s の利用の終了し、b b m s への接続も切れます。

【そのほかの機能】としては、数字の替わりに s と入力すると、4s と同じ意味になり、短い形式でカテゴリ一覧が表示されます。また、g00 のような形式で、00 番目のカテゴリへ移ることも出来ます。g"xx（または、"xx）では、xx という名前のカテゴリに移ります。これらの機能は、「掲示を読む」の中で、掲示の番号を入力する場面でも使用できます。



## 第四部 メールシステムの利用法

b b m s の最初のメニューで2番目を選択すると、メールシステムに入ります。このメールシステムは、b b m s 上でのメールのやりとりをするだけのものです。j u n e t や b i t n e t などへはメールを出せませんのでご注意下さい。

メールシステムのメインメニューは、このようになっています。

0. メニューに戻る
1. メールを読む
2. メールを送る
3. メールが読まれたか調べる

どれにしますか？

### (0) メニューに戻る

文字どうり、メールサービスを抜けてb b m s の初期メニューに戻ります。

### (1) メールを読む

自分宛てに送られてきたメールを読みます。最初にメールの一覧が表示されます。

現在 6 通メールがあります。

番号	発信者	日付	行数	題名
1	hoehoe	11/02 20:55	44	なんじゃらほい
2	likachan	11/04 11:46	16	Re:
3	mambo	11/04 18:08	15	Re:11月10日の会議
4	ueki	11/05 19:02	20	
5	kamitsubo	11/07 21:52	18	
6	N t.ishii	11/07 23:50	26	1億円の件について

どの番号のメールを読みますか (\*で一覧)？

一覧表の、番号の後の N は、そのメールまだ読まれていないことを示します。

読みたいメールの番号を入力して、メールを読みます。

メールを読み終わると、

このメールを消す(d)か、返事を書く(r)かしますか？

と聞かれます。返信を送るなら r、メールを消すなら d を入力します。どちらもしないなら、リターンキーだけを押してください。

このメールシステムでは、各 I D ごとにメールボックスを 2 0 0 0 行に制限しています。つまり、受信したメールの行数の総和は 2 0 0 0 行を越えられず、それ以上はメールを受信できなくなりま (メールを送る側に「メールボックスが一杯です」というエラーメッセージが出ます)。したがって、読んだメールはすみやかに消去して下さい。

### (2) メールを送る

メールを送ります。最初に宛先の I D を聞かれるので、入力します。すると

他の利用者にもこのメールを送りますか？

と聞かれます。他の利用者にも送るのなら、さらに宛先を指定できます。それ以上の宛先を入力しないなら、リターンキーだけを押してください。次に、

題目は？

と聞かれたら、メールの題を入力してください。そのあとで、メールの本文の入力に移りますが、このやり方とラインエディターでの修正法などはは揭示の入力と同じです。

最後に

これを出していいですか？

と聞かれますので、よければ Y と答えます。

### (3) メールが読まれたか調べる

これは、送ったメールが相手に読まれたかどうかを調べる機能です。

## 第五部 メールでの利用法

Spring-8 bbmsには、telnetなどのコマンドでsrsunixにログインできない利用者のために、メールを使った掲示の宅配サービスがあります。

### (1) 宅配サービスの登録

このような利用者は、まずシステム管理者に連絡して、自分のIDを作ってもらってください。  
【何かの機会にsrsunixに接続できれば、その際にIDを作ってもかまいません。宅配サービスを希望するなら、必ず自分のメールアドレスを入力します。さらに「ユーティリティ」のメニューで9番（画面には出ない）を選択し、YESと答えます。またtelnetで接続できないなら、10番にもYESと答えておきます。】

設定が行われれば、新しい掲示が出されたときに掲示がメールで届けられます。ただし、送られてくるのは「公式」のカテゴリーの掲示（カテゴリー名に大文字を含むのでわかります）だけです。

また、既に出されていた掲示が利用者自身によって取り下げられた場合にも、その旨のメールが届けられます。（これも「公式」のカテゴリーに出た掲示だけです）

bbmsには多数の掲示が出されることが予想されます。したがって、宅配サービスを希望する利用者には大量のメールが届けられることとなります。なるべく頻繁にメールを読むようにしないと、メールを受信する計算機のディスクが溢れて他の利用者に迷惑をかけることもありますので、十分ご注意ください。（旅行などで長期不在にする方は、下の（4）の方法でメールの配送を止めて下さい）

### (2) メールで掲示を出す

spring8bbms@srsunix.riken.go.jp にメールを出すことによって、メールで掲示を出すこともできます。このときにはメールをbbmsに登録したメールアドレスから出すようにして下さい。登録していないメールアドレスからは掲示を出せません。この機能は、掲示の宅配サービスを登録していない利用者でも使えます。掲示はどのカテゴリーにも出せません。

掲示は、1行が80バイト（漢字40文字）以下でなければなりません。一行があまり長いと投稿は失敗し、その旨のメールが返されます。一つの掲示の最大の長さは2000行です。

漢字コードは必ずJISを使って下さい。一般に電子メールのやりとりは、多くの場合JISで行われているので、特に設定を変更する必要はないかもしれません。

掲示の先頭（メールの本文の最初）に、次の指定を書くことが出来ます。

Subject> 掲示の題名です。日本語で書いてかまいません。本文の最初に指定がなければ、メールそのもののSubject:を使います。

Category> 掲示を出すカテゴリーです。これは既に存在するカテゴリーでなくてはなりません。存在しないカテゴリーを指定すると、投稿は失敗し、その旨のメールが返されます。カテゴリー名は大文字小文字を区別することに注意してください。

Expire> 掲示の消去期限です。必ず、yyyy/mm/dd の形で指定します。年は4桁、月と日はかならず2桁指定します（例：1999/01/01）。最大6カ月以内です。指定がなければ、1カ月になり、その旨のメールが返されます。

なお、宅配サービスに登録してあれば、自分の出した掲示もメールで配達されますので、正しく掲示されたかどうか確認できます。

### (3) メールで掲示を取り下げる

メールの本文の先頭に、

Delete> 100

のように自分の出した掲示の番号を書いて送ると、その掲示を取り下げることができます。

### (4) 掲示宅配サービスをやめる

メールの本文の先頭に

Delivery> off

と書いて送れば、メールでの掲示の配送を中止します。

Delivery> on

と書けば、再び開始します。

### (5) 現在出ている掲示の一覧を得る

メール本文の先頭に

List>

とだけ書いて送れば、現在掲示板にある掲示のリストが送られてきます。これを見て、(6)の機能を使って必要な掲示を取り寄せることができます。

### (6) メールで掲示を取り寄せる

メールの本文の先頭に

Get> number

と書いて送れば、その番号の掲示を取り寄せることができます。

Get> number1,number2,number3...

のようにすれば、複数の掲示を一つのメールで取り寄せることができます。この場合には、どのカテゴリーの掲示でも取り寄せることができます。